

「2023年度 町田市中学生フォーラム」の実施報告について（詳細版）

1 概要報告（2月に周知済みのものを再掲）

1 目的

町田市内の中学校から生徒の代表者が集い、各学校の課題解決や目標実現に向けた取組等について交流することを通して、今後の各学校における自主的な取組の活性化を図るとともに、各自の主体性や協調性等の育成を図る。

2 概要

- 昨年度から開始し、2回目の実施となる。
- 事前に各中学校の生徒に調査し、テーマを「SNSにおける情報の取扱いに関する意識の向上に向けて」と決定し、実施した。
- 町田市立中学校各校2名の代表生徒が集い、会の進行や話し合いを生徒が主体となって進めていった。
- 各学校における SNS 利用の現状と課題を共有し、意見交換をした後、「SNS における情報の取扱いに関する意識の向上に向けたキャッチコピー」を検討した。

3 実施日時・会場

2024年1月29日（月） 午後2時から午後4時まで
町田市庁舎 10階 10-2～5会議室

4 会の流れ

- (1) 開会式
- (2) 各学校の SNS 利用における現状と課題、SNSトラブル防止に関する取組についての意見交換
- (3) 市内の児童・生徒への、SNS における情報の取扱いに関する意識の向上に向けたキャッチコピー作成
- (4) 閉会式

5 生徒が作成した市内の児童・生徒に向けたメッセージ

グループ	中学校名	メッセージ
A	町田第一・つくし野・武蔵岡	それって送って大丈夫？ 後悔しないか考えよう！
B	鶴川・忠生・小山	守ろう！自分との約束 気づいて！見えない言葉のナイフ
C	鶴川第二・金井・山崎	STOP!!一線を越えるな それは「いじり」？ それとも「いじめ」？
D	町田第三・成瀬台・薬師	ストップ！ 言葉のナイフ、 人に刺せますか？
E	南大谷・南成瀬・木曾・塚	責任と思いやりの手札
F	町田第二・南・真光寺・小山田	S SNS T トラブル防止 O 送る前 P ピタッと止まって考えよう!!

6 資料

(1) 生徒の活動の様子



(2) 生徒が意見交流する過程で作成したメモ、メッセージの説明

メッセージに込めたい思いやキーワード		市内の児童・生徒に向けたメッセージ
<p>【A グループ】</p>	<p>【B グループ】</p>	<p>Eグループのキャッチコピー 責任と思いやりの手札</p> <p>込めたい思い:「責任」はスマホを持つ、メッセージを送るための責任を持つという意味 「思いやり」は相手の気持を考えると意味 *これらの大切なことを手札として上手く使い、分けてSNSを使用する</p> <p>【E グループ】</p>
<p>【C グループ】</p>	<p>【D グループ】</p>	<p>Fグループのキャッチコピー エスエスエス S SNS T トラブル防止 O 送る前 P ピタッと止まって考えよう!!</p> <p>【F グループ】</p>

2 各グループの活動の様子

(1) Aグループ（町田第一中学校・つくし野中学校・武蔵岡中学校）

◎各学校のSNSに関する取組の共有

SNSに関する学校の取組①

- 取組名「SNS一中ルールの呼びかけ」
- 取組もうとした背景
中学生がSNS上でのトラブルに巻き込まれてしまう可能性が高く、生徒だけにルールを知ってもらうことが必要だと思ったから
- 方法
朝の挨拶運動でポスターを持ち呼びかける・ポスターを廊下に掲示する
- 成果と課題
「SNS一中ルール」をより多くの人に知ってもらえる

SNSに関する学校の取組①

- 取組「SNS川柳」
- 取組の目的
SNSを使う上での注意点などを学び、考えることで**トラブルを防ぐことにつながる**と考えたため。
- 方法
全校生徒にアンケートをとり、選んだ良い川柳を校内に張り出す。毎月張り替える。
- 成果と課題
【成果】主体的に活動に取り組む生徒が増えた
【課題】マナー化してきている

SNSに関する学校の取組①

- 取組名「SNS依存チェックリスト」
- 取組もうとした背景
自分がいかにSNSに依存している可能性があるかを客観的に捉え、改善するために行動してもらうため。
- 方法
Googleフォームを使って20問の質問からなるテストを作成する。1問につき選択肢は5つあり、それぞれ1~5点の点数がある。点数が多いほどSNS依存の度合いが強くなる。同じ内容のポスターを作成し廊下に掲示する。
- 見込まれる成果と課題
SNS依存について自分事として考えて生活できる。

↑つくし野中学校

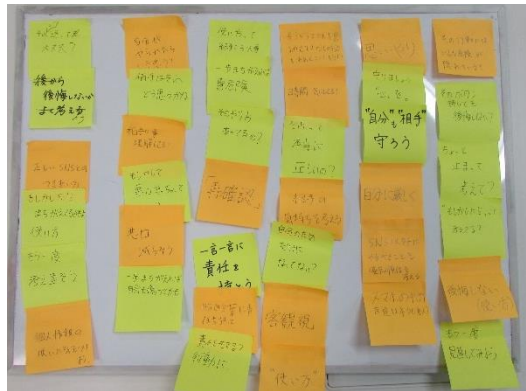
←武蔵岡中学校

○呼びかけやルールの掲示ができていなかった。チェックリストを実施していきたい。（武蔵岡中学校）

○川柳などの伝え合う取組があるのがよかった。（町田第一中学校）

○独自のルールがあって、自分たちが決めたルールだから、守っていくことができるのでは。（つくし野中学校）

◎キャッチコピーに込めたい思いやキーワードを書きだす



時間を制限するよりも使い方が重要ということ伝えたい。（つくし野中学校）

個人情報を送ることや、悪口と捉えかねない言葉を送ってしまうこと、すべての意味が入るキャッチコピーがいい。（町田第一中学校）

市内の児童・生徒に向けたメッセージ

Aグループのキャッチコピー

それって送って大丈夫？
後悔しないか考えよう！

(2) Bグループ (鶴川中学校・忠生中学校・小山中学校)

◎各学校の SNS に関する取組の共有

SNSに関する学校の取組

■取組名「**私達のSNS行動計画**」

■取組もうとした背景
近年SNSでの人権侵害が増加しているため

■方法
SNSでの人権侵害の実例を見て、
対処法を班のメンバーと話し合い発表する

■成果と課題
みんなで協力し課題に対して取り組むことで
SNSでの人権侵害に対する意識が高まった

↑ 鶴川中学校

SNSに関する学校の取組①

■取組名「**心のアンケート**」

■取組もうとした背景
町田市の取り組みのため。

■方法
紙面回答

■成果と課題
課題として・匿名でないため書くことが難しい生徒が多い
・SNSについて問題解決されたという事例が少なすぎる
・成果がないこと

↑ 忠生中学校

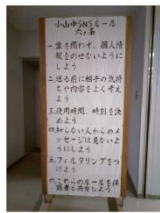
SNSに関する学校の取組①

■取組名「**小山中学校SNSルール**」

■取組もうとした背景
小山中学校にしかないルールで、
身近なSNSの危機への意識を上げるため

■方法
小山中SNSルール6か条を大きなボードに掲示

■成果と課題
SNSに対する注意を呼びかける際に役立っている。
設置しているボードが景色化していることが課題。



- 8割が使っていることが分かった。LINE が最多。LINE での仲間はすれ、暴言、既読無視がある。(鶴川中学校)
- 利用規約を知らない人がいた。9割が使っていることが分かったが、個人情報の取扱いについて2割があまり考えていないのが課題。(忠生中学校)
- 使用時間が長いのが課題である。トラブルに巻き込まれていることもあった。(小山中学校)

◎キャッチコピーに込めたい思いやキーワードを書きだす

Bグループ キャッチコピーに込めたい思い、キーワード

※小せんを2回タップして記入します

守ろう	客観的に	自分との約束	守ろう!自分との約束	利用規約
計画的に	落ち着いて	言葉のナイフ	気づいて!見えない言葉のナイフ	
考え直そう	完全に解決する			
ネットのウイルスはネットのマスクでガードすべし	自己防衛一ボタンひとつでデジタルタワー	自分の情報大事にしようー生消えないデジタルタワー	あなたの書いている文、誰も傷つかない?	自分の身は自分で守れ
			後悔しない小さな工夫	学ぼう!正しい知識
				デジタルタワー
				正しくない知識で行動をして自分や友達を傷つけてほしくない

呼びかけるキャッチコピーが良い。(忠生中学校)

「守ろうルール」だと、既存のもののような感じがした。新しくない。
「自分」という言葉が良い。(小山中学校)

市内の児童・生徒に向けたメッセージ

Bグループのキャッチコピー

守ろう!自分との約束
気づいて!見えない言葉のナイフ

(3) Cグループ (鶴川第二中学校・金井中学校・山崎中学校)

◎各学校の SNS に関する取組の共有

<p>SNSに関する学校の取組</p> <p>■取組名「SNS家庭内ルール」</p> <p>■取組もうとした背景 児童・生徒がいじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようSNSを利用する際のルールとして、「SNS家庭内ルール」を策定した。</p> <p>■方法 教員の指導のもと、家族同士が話し合い学校や家庭でルールを定める。</p> <p>■成果と課題 アンケート結果から「SNSでトラブルが起きたことはない」と答えた人が約80%いたが、トラブルをゼロには出来ていない、今一度SNSとの正しい付き合い方について考える必要がある。</p>	<p>SNSに関する学校の取組①</p> <p>■取組名「これって本物？それとも偽物？」</p> <p>■取組もうとした背景 課題からフェイクニュースを見極める先見の明を身につけたいと思ったから。</p> <p>■方法 各学年のクラスルームにフェイクニュースやAIが作った画像などと、本物のニュースや記事や画像などを混ぜたクイズをアップして 全校生徒たちに普段自分達がどれだけ偽物に騙されているかを知ってもらい、そういった情報を見極めようとする意識を楽しみながら 高めてもらう。</p> <p>■成果と課題 少しだけ普段見る情報が本物かどうかを気にかけるようになると予想した。</p>
--	---

↑ 鶴川第二中学校

↑ 金井中学校

<p>SNSに関する学校の取組①</p> <p>■取組名「SNS制限ウィーク～健康しか勝たん～」</p> <p>■取組もうとした背景 スマホを長時間使用している人が多いこと。それによりSNSでのトラブルがあったこと。</p> <p>■方法 ①SNSの長時間使用による弊害などを記入したポスターを校内に貼る。 ②勉強やスポーツなどのスマホを使用する時間の変わるとなる趣味などを探す期間を設定する。</p> <p>■予想される効果 スマホを長時間使用することが無くなりその時間を趣味などの時間にあてることで必然的にストレスなく健康的な生活を送ることができる。</p>
--

← 山崎中学校

- 山崎中学校の活動は素晴らしい。(金井中学校)
- 鶴二中の取組の事後アンケートで80%の成果が出ていることはすごいことだと思う。(山崎中学校)
- 金井中に質問。Classroom にフェイクニュースや AI を混ぜたクイズを作成する方法とは？(鶴川第二中学校)

◎キャッチコピーに込めたい思いやキーワードを書きだす

Cグループ キャッチコピーに込めたい思い、キーワード ※小せんに2回タップして記入します

長時間使用	意識向上	ストレスなく健康生活	見えない画面の裏側に想像して気遣おう	STOP!!一線を越えるな!! それほ「いじり」? それとも「いじめ」?	疑心安気&正しいかどうか見比べる
身近なSNSへの危機感を感じてほしい	適切な使い方	顔が見えなくても、相手のことを気遣う	軽い一言、人を傷つける始まりになる		
見えない顔	軽い一言凶器になる	客観的に読み返す	STOP!!一線を越えるな!!	SNSのいい部分と危険な部分の区別をつけてほしいから。	想像して!画面の裏側に
いじめの始まりの遠い	正しいかどうか見比べる	無神経で人を傷つける	画面の裏に相手がいることを考えてSNSを利用してほしいから。	疑心安気☆	安心してSNSを利用するためには、離れ心も必要だとせえたらから(当て字です!!)

同じような内容は、1つにした方が良い。(金井中学校)

キャッチコピーをどれか1つに絞りたい。(山崎中学校)

市内の児童・生徒に向けたメッセージ

Cグループのキャッチコピー

STOP!!一線を越えるな

それは「いじり」?

それとも「いじめ」?

(4) Dグループ (町田第三中学校・成瀬台中学校・薬師中学校)

◎各学校の SNS に関する取組の共有

SNSに関する学校の取組①

- 取組名「SNS学校ルール」
- 取組もうとした背景
手紙などの配布では見てもらえない可能性があるため、ポスターなどで確実に知ってもらい、トラブルを減らすため。
- 方法
・SNS学校ルールポスターを作る(ポスターを貼る期間:1月15日から2月15日)
↓
それにより、「SNSでのトラブルがどれだけ減ったか」のアンケートの実施
- 成果と課題
ポスターを見て、「SNS学校ルール」についてよく知ってもらえ、SNSトラブルが減るのではないか

↑ 町田第三中学校

SNSに関する学校の取組

- 方法
・今年SNSルールを再構築するため、SNSに関するアンケートを全校 生徒に行い、その結果を受けて、新・成瀬台SNSルールに活用して いく。
・また、実際にSNSの危険性を知ってもらうためのプレゼンテーションやSNSトラブル防止動画を視聴し、説明する機会を作る。
- 成果と課題
危険性の理解が深まり、他者とのコミュニケーションツールとしての知識の向上につながる。

↑ 成瀬台中学校

SNSに関する学校の取組①

- 取組名「SNSポスター呼びかけ」
- 取組もうとした背景
一人ひとりのSNSに関する意識の変化を図る
- 方法
廊下や昇降口にポスターを掲示する
ポスターの内容: SNSの使い方の注意喚起
使い方の〇×クイズ
- 成果と課題
廊下を歩いているとポスターを触ってくれている人がよくいる
→勝手にSNSの使い方に関心が向くようになっている...?

←薬師中学校

- 動画などの発信は効果的である。(町田第三中学校)
- ポスターの内容がユニークでよい。真似してみたい。(成瀬台中学校)
- キャッチコピーが面白く、覚えやすい。実践してみたい。(薬師中学校)

◎キャッチコピーに込めたい思いやキーワードを書きだす

Dグループ キャッチコピーに込めたい思い、キーワード

顔が見られないんだよ	スマホは凶器だよ	言葉のナイフ
自分がやられたらどう感じる?	メッセージは消せても気持ち消えない	立ち止まって!
消えないよ	最後に確認!	Uターンしろ!
その言葉相手を傷つけるかも...	画面の向こうにも人がいる	

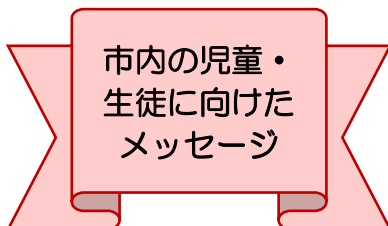
※ふせんを2回タップして記入します

言葉は帰ってくる
その言葉本人の前で言える?

親しみやすさがあった方が、小学生にも受け入れられやすいのでは。(成瀬台中学校)

stop! 言葉のナイフ人に刺せますか?

長いよりも、短いフレーズの方が入りやすい。(薬師中学校)



Dグループのキャッチコピー
ストップ!
言葉のナイフ、人に刺せますか?

(5) Eグループ (南大谷中学校・南成瀬中学校・木曾中学校・堺中学校)

◎各学校の SNS に関する取組の共有

<p>SNSに関する学校の取組①</p> <ul style="list-style-type: none"> ■取組名「傷つけないで」 ■取組もうとした背景 アンケートを取った結果、悪口を言われたと答える人が多く、生徒が日頃から意識できるようにするため。 ■方法 ポスター ■成果と課題 日頃からSNSの利用について意識することができると考えられる。 成果があったのかアンケートで調査します。 <p>↑ 南大谷中学校</p>		<p>SNSに関する学校の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ■方法 放送での呼びかけ・廊下と各教室に掲示し存在感を与え生徒が意識できるようにした。 ■成果と課題 生徒の目に触れる機会を増やしたことで、MSGsが認識され生徒自身の意識をたかめられた。そのことで生徒間のトラブルは減ったが、まだ実際に行動できていない人もいて完全にトラブルが防止できたわけではない。 <p>↑ 南成瀬中学校 ↓ 堺中学校</p>
--	--	--

<p>SNSに関する学校の取組①</p> <ul style="list-style-type: none"> ■取組名「SNSの怖さを知る」 ■取組もうとした背景 多くの人がSNSを長い時間利用していて、返信が負担になっているといった意見がある。知識がないことに危機感を感じる。 ■方法 SNSに依存すると起こる悪影響をまとめて、生徒朝会で発信をする。依存・トラブル防止ポスターを作成して掲示(クイズを入れ工夫)。 ■予想される成果と課題 成果:知識がつくことで自分たちで防ぐ力がつく。 課題:ポスターを見る人が限られている。 知識があってもやってしまうので根本的な解決にはならない。 <p>↓ 木曾中学校</p>	<p>SNSに関する学校の取組①</p> <ul style="list-style-type: none"> ■取組名「セーフティ教室」 ■取組もうとした背景 SNSの正しい利用の仕方を知るため ■方法 講師を学校に招いて講演会をしてもらう。 正しいSNSの利用の仕方(利用規約やモラルなど)について講習を受ける。 ■成果と課題 成果:詳しいことまで説明してくれるからSNSに関する知識が身につく 課題:しっかり聞いていない人もいて、全員が理解しているわけではない <p>↑ 南成瀬中学校</p>
---	--

- 簡単なことから始められるのがいい。自分の学校でも取り入れたい。(南大谷中学校)
- トラブルが減ったということで、効果がある取組だと思った。(木曾中学校)
- ただルールを作るだけでなく、クイズを作成することで、なじみやすいと思った。(堺中学校)
- 生徒会から講師を招くという取組はいいと思った。(南成瀬中学校)

◎キャッチコピーに込めたい思いやキーワードを書きだす

Eグループ キャッチコピーに込めたい思い、キーワード

感情、心、気持ち	言葉のナイフ	相手	相手を思いやる	自分も相手も傷つけない	ルールを守る
心がける		相手の気持ちを考えよう		第三者の意見を大切に	自分で理解し、考え行動する
スマホ以外の楽しみ	スマホの向こう	責任	責任を持つ	スマホを持つ責任メッセージを送る責任	
立ち止まって	直接会って話そう	健康的に使おう		仲間外れ、しない・させない!	送る前に Let's think!

※みせんを2回タップして記入します

身近にあるものと関連付けて、分かりやすくするとよい。(南大谷中学校)

市内の児童・生徒に向けたメッセージ

Eグループのキャッチコピー

責任と思いやりの手札

込めた思い:「責任」はスマホを持つ、メッセージを送るための責任を持つという意味
「思いやり」は相手の気持ちを考えるという意味
* これらの大切なことを手札として上手く使い 分けてSNSを使用する

(6) Fグループ (町田第二中学校・南中学校・真光寺中学校・小山田中学校)

◎各学校の SNS に関する取組の共有

SNSに関する学校の取組①

- 取組名「町田二中SNSルール」
- 取組もうとした背景
町田二中では大きな問題が起きていないがモラルの問題が出てきているため、SNSの使い方を今一度確認する
- 方法
朝礼、ポスター、放送、生徒会通信でSNSの使い方について情報提供をする
- 予想される成果と課題
SNSの取り扱いの意識向上

↓ 真光寺中学校

SNSに関する学校の取組①

- 取組名「スマホのルールチェックリスト！」
- 取組もうとした背景
スマホの適切な使い方や、長時間使用の及ぼす影響を理解してほしいと思ったから
- 方法
SNSとの正しい関わり方、スマホの適切な使い方をチェックリストでまとめた紙を 生徒一人ひとりに配布し、読み合わせを行う。また、1枚は各クラスに貼ってもら うようにする。
- 成果と課題
自分のスマホの使い方について振り返り、合っていたことと間違えていたことを 知ることができる

↑ 南中学校

↓ 小山田中学校

SNSに関する学校の取組①

- 取組名「SNS依存症について」
- 取組もうとした背景
SNSの過度な使用による影響を知ってもらえる。
- 方法
SNS依存症の危険性や、依存しないようにする対策を書いたポスターを、昇降口などの生徒の目につきやすい場所に設置する。
- 成果と課題
SNSとの正しい付き合い方を詳しく知ってもらえることができ、1人1人の意識が変わる。

SNSに関する学校の取組①

- 取組名「送る前にかんがえましゅまる」
- 取組もうとした背景
文面では直接話すより気持ちが伝わりにくく、相手と自分の思っていることが異なることがあり、トラブルに繋がりがりやすいため
- 方法
マシュマロの形に切ったカードを生徒に配布し、送る前に何を考えてから送るかを書いてもらい掲示する
- 成果と課題
SNS上でのいじめや被害に合う人を減らす



○約 97%の人が PC、スマホ、タブレットなど友達と連絡が取れるツールを持っている。LINE を使用している人が1 番多く、3 時間以上使用している人が多かった。(小山田中学校)

○南中学校から健康の話があった。防止策は分かるが、実際に問題が起こった時にはどうする？(町田第二中学校)

○真光寺中学校の川柳は、みんなが意識して取り組めるような内容でいいと思った。(南中学校)

◎キャッチコピーに込めたい思いやキーワードを書きだす

Fグループ キャッチコピーに込めたい思い、キーワード

※ふせんを2回タップして記入します

- 使い方を改める
- 責任を持つ
- それぞれが SNS というものを理解する
- 使用時間を決める
- 自分で自分の身を守る
- 脱仮想空間
- 時間とメリハリ
- 知らないうちに、忘れてない？
- 送る前にちょっと立ち止まって

S SNS
T トラブル
防止
O 送る前
P ピタッと止まって考えよう！！

- 誰も傷つけないために正しい知識を身につける
- スマホ利用時間と学力は反比例する
- スマホの使いすぎからなる負のループ
- 30分に一回20秒目遠くを見つめてみよう
- SNSに集まれるのではなく、SNSを集めるように
- 賢く優しく美しい使い方
- みんなで一緒に作り出そう!!

意味が重なっているのをまとめよう。(小山田中学校)

ストーリーみたいになった方がいいと思う。(南中学校)

市内の児童・生徒に向けたメッセージ

Fグループのキャッチコピー

エスエヌエス
S SNS
ぼうし
T トラブル防止
おく まえ
O 送る前
と かんが
P ピタッと止まって考えよう!!

3 参加生徒へのアンケート結果

(1) 実施期間 2024年1月29日(月)から2024年2月26日(月)まで

(2) 回答数 36件(参加者40名、回答率90%)

(3) アンケート結果1：選択項目

設問	深く考えることができた	考えることができた	あまり考えることができなかった	全く考えることができなかった
「SNSの情報の取扱に関する意識の向上に向けて」について考えることができましたか。	88.9% (32件)	11.1% (4件)	—	—

設問	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかというともう思わない	そう思わない
「SNSの情報の取扱に関する意識の向上に向けて」積極的に取り組んでみたいと思いましたか。	77.8% (28件)	19.4% (7件)	2.8% (1件)	—
キャッチコピー作成の際に、積極的に発言できましたか。	58.3% (21件)	36.1% (13件)	5.6% (2件)	—

設問	参考になった	参考にならなかった
他校のSNSの情報の取扱に関する意識の向上に向けた取組は、自校の取組の参考になりましたか。	100% (36件)	—

(4) アンケート結果2：中学生フォーラムに参加して、よかったことは何ですか。

(一部抜粋)

- 自分たちでは考えたことのないような意見がたくさんあって良い機会になりました。また、意見や質問が活発に出るので考えを深めることができました。
- 他中学校の生徒会の方と交流し、コミュニケーションをとることで気付いたことがたくさんあって、学びになった上、そのような方々と話す貴重な機会となり、とても良い経験になりました。
- SNSに関する取組はもちろん、普段どんな活動をしているかなども他の学校と共有できました。
- 他の学校の取組を聞くことで、全校生徒が参加してくれる活動をするためのポイントや傾向を知ることができました。
- 他の中学校のSNSの取組についても知ることができ、自分の学校のこれからの取組について見直す機会ができました。
- 他校の画期的な取組を知ること、違う生徒会の人と話して様々な意見を聞くこと、今悩んでいる課題や解決策について共有することができたことがよかったです。

(5) アンケート結果4：今後、町田市中学生フォーラムで話し合いたいテーマは何ですか。

- SDGsについて
- ゲーム・スマホ依存について
- 生徒会活動について
- SNSの扱い方について
- 天然資源枯渇の問題について
- 環境保全について

- いじめについて
- 地域の人と関わる活動について
- けじめのつけ方
- 他学年との交流の機会について
- Chromebook の使い方について
- 勉強の仕方、時間の使い方について
- 学校内外の交通安全について
- バリアフリーへの取組
- 本当の友達関係のつくり方
- 全員が得意や特長を発揮できる学校にするために
- 登下校の寄り道や近所迷惑な行為を減らすために
- 学習意欲を高めるための取組
- これからの社会に必要な技術、発想
- 校則について
- 中学生が巻き込まれやすい犯罪
- 不登校などの長期欠席について
- 人権侵害について
- よい学校にするための取組
- 若者言葉の使用の良し悪しについて
- 理想の生活習慣について

(6) アンケート結果3：中学生フォーラムに参加しての感想や意見を書いてください。
(一部抜粋)

- 最初は少し緊張していたが、自己紹介や話し合いをしていくうちにほぐれていき、集中して考え、話し合いをすることができた。キャッチコピーの話し合いでは、jamboard を使用して意見交換をしたりして、いい雰囲気で作ることができ、楽しかったです。
- 様々な意見が聞けて、すごく充実した時間だと感じました。たくさんの違う学校の生徒の方々と関わることによって、自分のまだ不十分なことや、新しい発見がたくさんあって、自分を成長させることができたと思いました。生徒会、学校でできることを実践していきたいです。
- とても話しやすい雰囲気を作れていて、とても楽しかったです。司会やはじめの言葉など、話す人、一人一人が堂々としていて、とてもすごいと感じました。
- すごく貴重な話し合いになったので、とても記憶に残りました。全部の学校のアイデアを聞いてみたかったです。
- 班のメンバー全員が積極的に話し合いに参加し、意見を出していてとても面白かったです。各学校の取組の意見交換の時間が短かったので、もっと長くしてほしいと思いました。
- あたたかい雰囲気があり、話しやすかった。質問や感想を考えることは大変だったが、どの学校の取組もたくさん工夫がされていて驚愕だった。
- 各学校で少しずつ違う取組があり、それらに対してとても興味がわきました。時間の都合もあると思いますが、より多くの学校の取組についてもっと知りたいと思いました。
- 2回目の話し合いの後に、1回目の話し合いのグループに戻るのだったら、2回目の話し合いで知ることのできた取組を、1回目のグループの人達に共有する時間を設けてみてはどうでしょうか。そうすることで、より多くの取組を知ることができるし、より詳しい話を聞くことができるのではないかと思います。
- 様々な意見に触れることにより、考え方の幅が広がった気がして、有意義な時間になったと思います。自分の固定観念にとらわれない柔軟な思考をもつことの必要性を改めて知ることができた場だったと思います。
- 最後にキャッチコピーを発表した時の発言の仕方が、どの人も上手で刺激的でした。話し合いでは、まるで同じ学校の生徒かと思うくらい盛り上がり、とても楽しかったです。たくさん学びを得られたので、ぜひ今後とも継続させていきたいです。

たいです。

- このような町田市で行われる大きなイベントに参加したことがなく、初めてだったのでいい経験になりました。他の中学校に分かりやすく伝えるのは、意外と難しかったです。また、すぐに感想を考え、相手に伝えるということはあまりしなかったもので、このような力を今後も伸ばしていきたいと思いました。

(7) まとめ

- 会の内容や開催について、否定的な意見はなかった。本会が、生徒が主体的に考える場として、その目的に資するものであったと言える。
- 2024年度の開催については、アンケート結果2・3にあった意見なども踏まえ、より良い会になるよう、計画していく。

(8) 次年度以降のフォーラムの開催について

- 2024年度は、夏に中学生フォーラムを実施予定。
- 2025年度からは、「町田市教育プラン 24 - 28」の通り、中学校全校及び小学校各地区代表2校で、「児童生徒フォーラム」を実施予定。